

# 令和元年度 日本病院前救急救命学会事業報告

令和 2 年 8 月

## 理事長活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全国の消防関係への訪問などができなかった。

大阪府危機管理室へ訪問し、令和 2 年 9 月 25 日に開催される大阪府指導救命士研修会の講演依頼を受けた。

第 12 回 日本蘇生科学シンポジウム ディベート研究「CPR を再考する」 Debate session 4 に) 脇田理事長が参加した。

## 総務運営委員会活動内容

2019 年度第 2 回理事会において、評議員の任期制導入及び更新の条件並びに定数等について、総務運営委員会で改正案を検討することを要請されたが、その後理事会で、評議員の任期制導入の可否について、「将来的には必要になるかもしれないが現時点では必要なし。」との意見が多数であったため、今年度は定款及び定款施行細則改正案作成作業に着手しなかった。

## 広報委員会活動報告

ホームページ及び Facebook への広報活動・運営及び維持管理を継続して実施した。

具体的には、第 6 回学術集会専用ページの作成や救急救命に関わるニュースについて告知を行った。

総会・学術集会のポスターと広報用のリーフレットを作成した。

## 教育研修委員会活動報告

ロードマップを確認するとともに、ZOOM を活用して①具体的な研究活動 ②会員 ML や SNS の活性化 ③若手会員の後押し、について検討を行った。

第 12 回 日本蘇生科学シンポジウム ディベート研究に委員が参加した。

### 現場での処置 1

- ・気管挿管がよい：pro 竹田 豊（日本病院前救急救命学会）
- ・声門上デバイスでよい：con 当麻 美樹（兵庫県立加古川医療センター）

### 現場での処置 2

- ・薬剤投与まで行うべき：pro 一柳 保（日本病院前救急救命学会）
- ・最低限のみでよい：con 畑中 哲生（救急救命九州研修所）

また、会員 ML におけるディスカッションのフォローを行った。「自動心臓マッサージ器クローバーフラッシュ機能」「新型コロナウイルス感染症」「全国救急隊員シンポジウム」

2020 年度学術集会 WS「経験からの仮設とその証明で病院前救急の EBM を作る」の運営に向けた準備を実施した。

### 評議員審査委員会活動報告

2019年度第2回通常理事会で、評議員審査に関する規約改正案を提案されたが、評議員の任期制導入及び更新の条件並びに定数等について、総務委員会で検討し、その審議結果を経てから活動を行うこととなったため、当委員会に関する活動はなし。

### 編集委員会活動報告

以下の内容について、ZOOMを活用して検討を行い、理事会に答申した。

- ① 救急救命士を対象とした研究方法や学会発表するためのハウツー本の発行
- ② 本会の機関誌発行に向けて投稿論文規定の作成
- ③ 査読委員会、委員選任の条件設定

### 国内外関係機関との交流連携委員会報告活動報告

メーリングリストを立ち上げて、第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会に併設される EMS Asia の前後で勉強会実施の検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症により、EMS Asia が 2021年9月に延期になったことから、勉強会の日程や内容を含め、再検討する事とした。